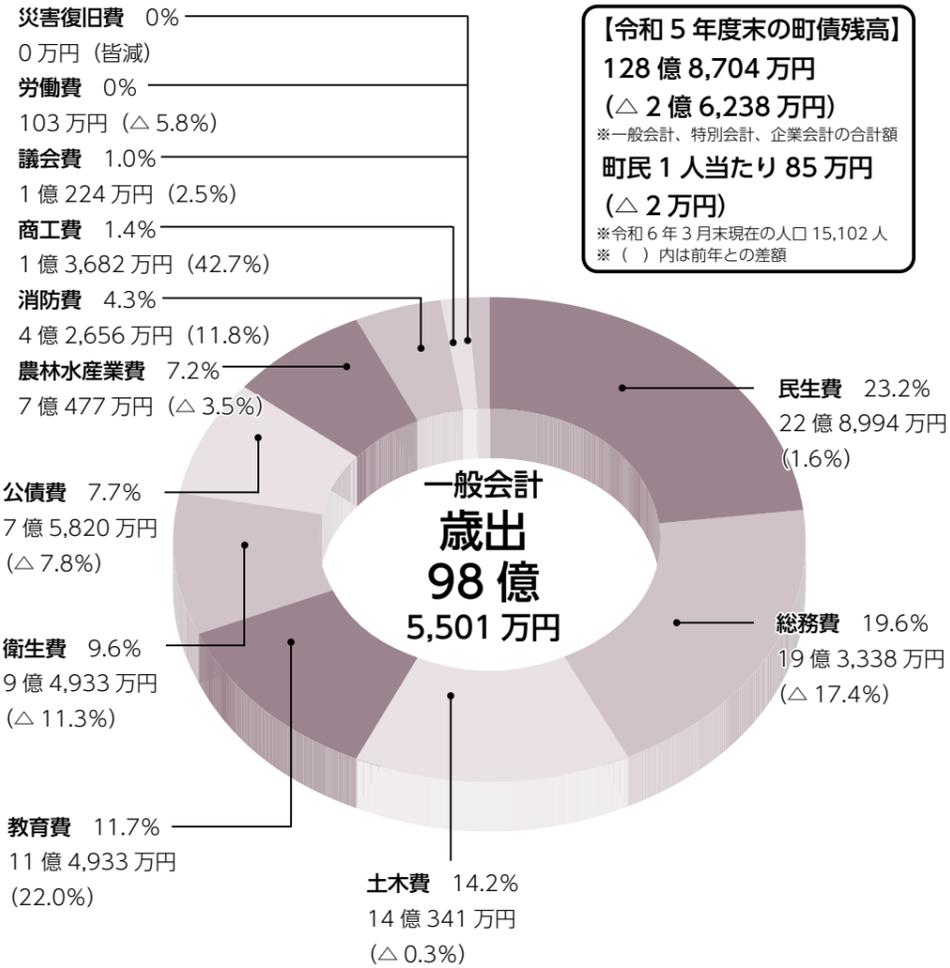


決算

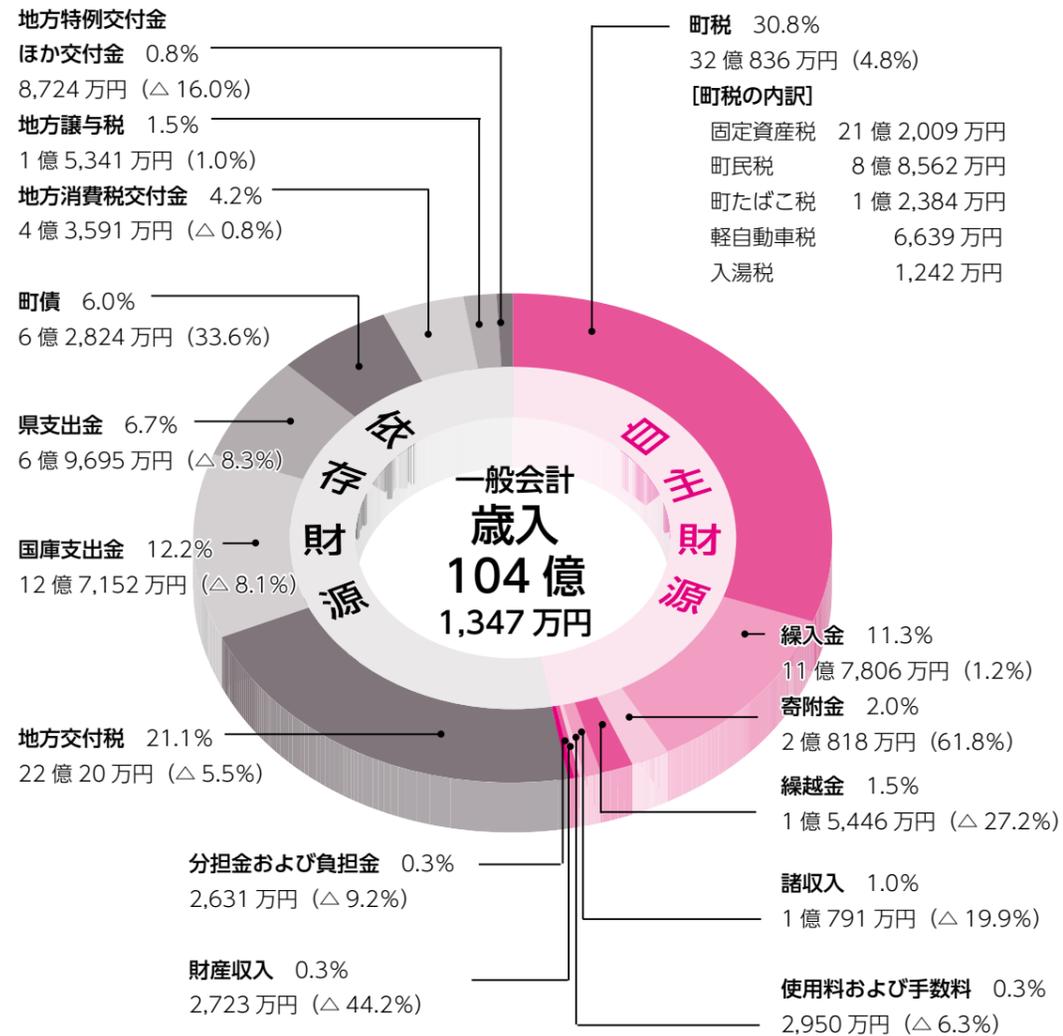
令和5年度一般会計 決算の説明

- 【歳入】**
- ▶町税…固定資産税の増
 - ▶国庫支出金…新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金、新型コロナウイルスワクチン接種関連補助金及び臨時道路除雪事業費補助金の減
 - ▶県支出金…機構集積協力金交付事業補助金及びいわて子育て世帯臨時特別支援金給付事業補助金の減
 - ▶地方交付税…特別交付税及び震災復興特別交付税の減
 - ▶寄附金…ふるさと応援寄附金の増
 - ▶町債…学校教育施設等整備事業債及び除雪機械導入事業債の増

- 【歳出】**
- ▶総務費…財政調整基金、減債基金及び公共施設維持整備基金への積立金の減
 - ▶教育費…永岡小学校体育館長寿命化工事及び中央生涯教育センター・図書館受変電設備更新工事の増
 - ▶衛生費…新型コロナウイルスワクチン接種関連事業費の減
 - ▶消防費…奥州金ケ崎行政事務組合消防費分担金の増
 - ▶商工費…物価高騰対応関連事業費、大沢堤堤体修繕工事及び金ケ崎駅東西交流施設エレベータ耐震改修工事の増



【令和5年度末の町債残高】
128億8,704万円
 (△2億6,238万円)
※一般会計、特別会計、企業会計の合計額
町民1人当たり85万円
 (△2万円)
※令和6年3月末現在の人口15,102人
 ※()内は前年との差額



※各項目で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。
 ※()内は前年からの増減率。「皆減」は当該年度に支出がなく全額減少したものを。

令和5年度の町の決算がまとまりました。昨年度1年間、町のお金がどのように使われたのかお知らせします。

特別会計・企業会計の決算状況

町には特定の収入を特定の支出に充てて一般会計とは別に経理する特別会計があり、全ての特別会計が黒字で運営されています。

また、町には公営企業会計として水道事業会計と下水道事業会計があり、水道事業会計については、収益的収支で3,384万円の純利益を計上しており、安定した経営となっています。下水道事業会計については、収益的収支で2億8,707万円の純利益を計上しましたが、資本的収支では3億6,721万円もの不足となっており、厳しい経営状況となっています。

▶令和5年度特別会計の決算額

特別会計名	歳入	うち一般会計繰入額		歳出
		歳入	歳出	
国民健康保険	12億3,716万円	1億301万円	12億1,286万円	
訪問看護ステーション	2,864万円	1,194万円	2,732万円	
介護保険	介護保険事業勘定	15億4,317万円	2億2,881万円	14億3,697万円
	介護サービス事業勘定	393万円	51万円	393万円
国民健康保険診療施設	医科勘定	4億1,961万円	1億5,644万円	3億8,950万円
	歯科勘定	5,220万円	1,408万円	4,824万円
後期高齢者医療	1億5,574万円	4,105万円	1億5,508万円	
岩手中部工業団地内工業用地整備	2億5,436万円	395万円	2億5,435万円	
合計	36億9,480万円	5億5,980万円	35億2,826万円	

※各特別会計で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

▶令和5年度企業会計の決算額

企業会計名	収入	うち一般会計繰入額		支出
		収入	支出	
水道事業	収益的収支 (税抜)	3億8,673万円	2,443万円	3億5,289万円
	資本的収支 (税込)	405万円	405万円	1億2,823万円
下水道事業	収益的収支 (税抜)	9億9,104万円	4億3,115万円	7億397万円
	資本的収支 (税込)	3億9,561万円	2,085万円	7億6,282万円

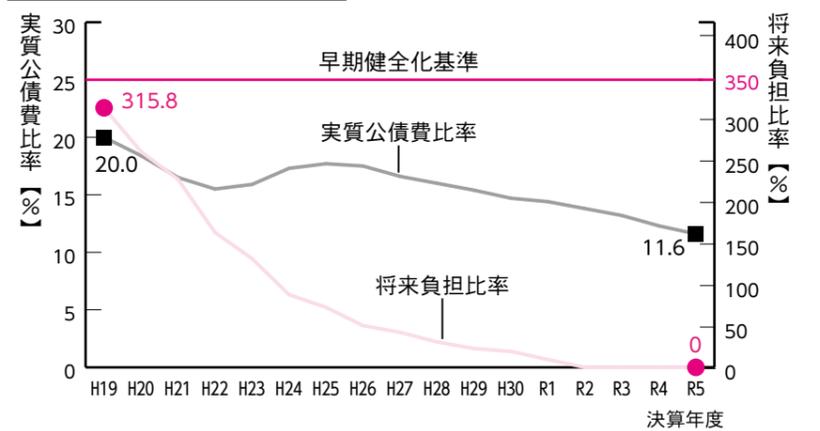
※資本的収支で収入が支出に対して不足する額については、収益的支出の「減価償却等の非現金支出 (損益勘定留保資金)」や前年度からの繰越資金、当年度純利益などで補填しています。

町の財政状況 各指標とも早期健全化基準をクリア

自治体の財政状況をチェックし財政破綻を未然に防ぐため、国は平成19年、いわゆる財政健全化法を定めました。この法律では財政指標により自治体の財政状況をチェックし、基準（早期健全化基準など）を上回った自治体には、財政運営に当たりさまざまな制約が課せられます。

町の令和5年度決算に基づく指標は「早期健全化基準」を下回っており、財政状況は健全であると言えますが、高齢化に伴う社会保障関係経費の増加や施設の老朽化対策など厳しい財政状況が予想されることから、限られた財源を有効に活用しながら財政運営の健全性を維持していく必要があります。

グラフ 主な財政指標の推移



【用語説明】

- ▶**実質公債費比率**…年間の借金返済額が町の標準的な年間収入の何%に当たるかを示したものの過去3年間の平均値
- ▶**将来負担比率**…現在の借金総額等が町の標準的な年間収入の何%に当たるかを示したものの